



いのちと平和と子どもたち

こでまた ふうね

2021.10.5
No.30-12

川口ぞうれっしゃ合唱団



秋晴れの高い空に誘われて少し長めの散歩をすると、コロナ鬱もつかのま晴れていくようです。京浜東北線沿い、蕨駅と南浦和駅の間あたりから武蔵野線武蔵浦和駅近くまで用水沿いに続く緑道『六辻水辺公園』には、季節の花々が咲き、赤とんぼが飛びかっています。とんぼは害虫を捕獲し、前にしか飛ばないことから、不退転の『勝ち虫』とも呼ばれ、縁起物として様々用いられてきました。『刀剣乱舞』にも出てくる、徳川四天王の本多忠勝の2丈(約6m)の長槍『蜻蛉切』も有名ですね。ゆっくり歩いても2時間弱、片道8000歩くらい、静かでお奨めの散歩道です。



自民党総裁が代わり、何か良くなるかもという根拠のない期待感が漂っていますが、マトリョーシカよろしく同じ内容の一回り小さい子分が出てくるだけでは、何も変わらないのではという見方も…。『反省だけなら猿でもできる』とは前世紀の終わりごろ流行った台詞ですが、いろんな失敗に対する反省もなく、『丁寧で寛容な政治』をなんて言われても、なかなか寛容に聞き入れる気持ちにはなれない人も多いかもしれないですね。でもデータをみると、ウンザリした国民の選挙離れがこの事態を招いているというのも事実。衆議院の解散総選挙が決まりましたが、まず反省、行動すべきは私たち有権者なのでは、もの思う秋の夕暮れ…。

4度目の緊急事態宣言もようやく解除となりました。このままコロナが収束すると考える人は、もはやいないでしょうが、それでも少しは息がつける、なんとなく明るい空気になっている気がします。ずっと辛抱してきたすべての人たちに、深呼吸を！！私たち川口ぞうれっしゃ合唱団も、まずはみんな顔合わせて、何か楽しいことやりましょう！と企画中ですよ～。

ぞうさんたくさんありがとう



文蔵公園のぞうさんおすべり

焼き肉屋さんの招き象 縁起良さそう



さっすが上野駅！
ぞうさんの足型で
ソーシャルディスタンス



サーカスのぞうさん 優しい目をしてるね